

全てが終わった」と語られました。『統一教会の分裂』が引用した二〇〇九年四月二十日のみ言でお父様は、「統一教会の師が行く最後の峠、境界線」を越えることができなければ、「どれほど深刻か分かりません」と語られましたが、三年後の二〇一二年四月二十五日のみ言でお父様は、「眞の父母様は峠を越え……天地人眞の父母定着も過ぎ去り、実体み言宣布も全て成し遂げ、その次には天地・天宙完成圏も全て超えました」と宣言しておられます。すなわち、「精子の旅行の道は、お母さんを探して……先生が定着」したと言われたのです。

ところが、『統一教会の分裂』は直前のみ言を隠蔽し、さらには、それ以降の摂理の進展をも無視し、お父様の意図に反する勝手な解釈を述べているのです。

『統一教会の分裂』は十八のみ言を引用し、それらが「韓鶴子の不従順」を裏づけるみ言だと主張しますが、原典にあたってみると、ことごとくみ言を「改竄」しており、虚偽の主張であることが分かります。

(七)お母様しか神様の夫人の位置に立てられない(二〇〇九年七月十一日)

金鍾奭氏は、『統一教会の分裂』で「(二〇〇九年七月十一日) 創始者が韓鶴子を神様の夫人の位置に立てるとはできないと言及する」(157ページ)と述べています。彼のこの主張は誤りです。まず、『統一教会の分裂』の訳文を以下、引用します。

「お母さんがどれほど大胆か分かりません。こうした原理原則を中心として天の国の天法生活に入ると一遍に引っかかり得る状況がたくさんあることを知らずに勝手に生きています。そこに引っかかるなりように私が垣根になつてあげて、蘇生時代から國家解放圏までもお母さんを保護する責任を今します。垣根となることは自分の垣根圏と対等な位置でできるのではありません。先生が作った垣根ができる前にはできません。お母さんがどうして神様の夫人の位置に立てますか。墮落した女として、どうして眞の父母の夫人の位置に立てますか。眞なる僕の夫人の位置にも立てずに追い出されて。それを殺してしまおうとするのにですよ。そのような人を捕まえて神様の夫人の位置に立てますか。そんな馬鹿げた行動がどこにありますか」(マルスム選集614-28)

以上の訳文を読むと、このみ言は、眞のお母様に対する眞のお父様の忠告のように読め、「自分勝手に生きておられるお母様」という意味に読めてしまう翻訳となっています。多くの人は、「そのような人をつかまえて神様の夫人の位置に立てられるのか? そんな馬鹿げた行動がどこにあるのか?」と怒つておられるみ言のように読むことでしよう。しかし、事実はそうではありません。実際の文章を、それらの前後を含めて、以下引用します。

「神様が協助をせず、靈界が協助をしないので、靈界が協助できる勝利的基盤をつくらなければなり

ません。神様が協助できる勝利的基盤がどこにありますか？自分自身の中にありません。先生をつかんで行かなければなりません。先生も今まで絶対信仰、絶対愛、絶対服従で束ねてきたのであって、別の何もありません。私の言葉がなく、私の主張がありません。

垣根を作つてあげ、お母様を保護してあげている

お母様はどれほど大胆なのが分かりません。このような原理原則を中心として天の国の天法生活に入つていくようになるとすぐに引っかかる状況がたくさんあることを知らず、心の行くままに生きています。そこに引っかかるないように私が垣根をつくつてあげ、蘇生時代から国家解放闘争までもお母様を保護してあげる責任を今、しています。垣根になるそれが、自分の垣根圏と同等な位置でなされるのではありません。先生が築いてあげた垣根となる前にはできません。

お母様がどのように神様の夫人の位置に出ますか？堕落した女として、どのように真の父母の夫人の位置に出てますか？真の僕の夫人の位置もできないで、追いかけ回されてです。それを殺してしまおうとするのにというのです。そのような人をつかまえて神様の夫人の位置に立てますか？そのようなことができる馬鹿げた行動がどこにありますか？統一教会の皆さんがそうなのです

眞のお父様が、眞のお母様を「神様の夫人の位置に立てることはできないと言及する」としている『統一教会の分裂』の翻訳文を、教理研究院の翻訳文と比較して検証します。

（『統一教会の分裂』の翻訳）

「お母さんがどうして神様の夫人の位置に立てますか？」

（教理研究院の翻訳）

「お母様がどのように神様の夫人の位置に出ますか？」

『統一教会の分裂』が「どうして」と訳した原文は、韓国語で「어떻게」と書かれています。これを「Why」の意味で訳します。ゆえに、その後に続く文章が全て、神様の夫人の位置に立てられない理由のみ言として読めてしまっています。しかし、ここでの「어떻게」の正確な意味は「Why」ではなく、「How」であり、「どのように」が正しい訳語です。したがって、このみ言は、「お母様をどのように神様の夫人の位置に」という状況、状態、方法などを尋ねておられるみ言なのです。
また、「立てますか」と訳している原文を見ると、韓国語で「나가나?」と書かれています。この言葉を彼は「立てますか」と訳し、疑問符の「?」も省略しています。この「お母さんがどうして、神様の夫人の位置に立てますか」との訳文を読めば、まるで、眞のお母様の不従順な姿に眞のお父様が苦慮しておられ、神様の夫人の位置を否定して語つておられる深刻なみ言であるかのように読みます。
しかし、韓国語の「나가나?」は、「나가다（動詞）+나?（疑問）」の形です。「나가다」は動詞であり、一般的に「出る」という意味です。したがって、「立てる」は誤訳です。

そして、「叶?」は疑問形ですが、これは、少し驚いているときに使われる表現です。それゆえ、「叶が叶?」は「出ますか?」とするのが適訳なのです。

この「お母様がどのように神様の夫人の位置に出来ますか?」は、その前で語られた状況を踏まえたうえで、真のお父様が「お母様が（そのような状況で）どのように神様の夫人の位置に出来ますか?」と尋ねておられる内容なのです。

ところが、『統一教会の分裂』日本語版は疑問符「?」を省略し、さらに「立てますか」と「誤訳』しています。しかも、『統一教会の分裂』は、最も重要な部分をカットしています。それが、最後に訳した「統一教会の皆さんがそうなのです」の部分です。

この一文が入ることで、真のお父様が指摘しておられる「馬鹿げた行動」の人物とは、真のお母様ではなく「統一教会の皆さん」であることがはつきりします。

以上の内容から、『統一教会の分裂』の「創始者が韓鶴子を神様の夫人の位置に立てることはできないと言及する」という主張は完全な「誤り」であることが明白となります。結局、このみ言は、真のお父様が、真のお母様以外の統一教会の女性たちに対して、「皆さんを神様の夫人の位置に立てることはできない」、「お母様しか神様の夫人の位置に立てられない」と言及しておられるみ言だつたのです。

この肝心な部分の「み言隠敵」と「誤訳」は、金鍾奭氏および翻訳者が真実を伝えるために「事実」に基づいて書物を世に出そうとするのではなく、何としても、お母様をおとしめようとする目的と動機をもつて、『統一教会の分裂』を策略的に著し、出版していることを裏づけます。

私たちには、お母様をおとしめようとする不純な動機からなされる、彼らのみ言の悪用にだまされたりません。

(六)「母のいない神」を信じてきた愚かさについて(二〇一二年七月十六日)

UCCを支持する人物は、「お父様は、聖和される五十日ほど前に、お母様が自分勝手にやつて、真の母が不在であると語られた。『オモニを私が育ててきたよ。オモニはいません。文総裁の妻の位置もいません。自分勝手にやつていい!! 自分勝手に。ん。』(アベル女性UN創設大会二〇一二年七月十六日)」と述べて、真のお母様をお父様が批判しているとしています。このみ言は、お父様がお母様を否定しておられるみ言ではありません。

このアベル女性UN創設大会のみ言を用いた「お母様批判」は、かつてサンクチュアリ教会を支持する人物も拡散しており、それに対する反論は『世界家庭』二〇一六年十月号にすでに掲載しました。UCCを支持する櫻井正実氏も、真のお母様をおとしめようとアベル女性UN創設大会のみ言を「お母様批判」に使い、悪用しています。

【誤り①】 真のお母様についてではないみ言を、「お母様に言及した」と述べる

UCCを支持する櫻井正実氏は、アベル女性UN創設大会で、真のお父様が講演文の「前置きである『